

# 会議報告書

2021(令和3)年7月7日

会 議	弥栄分校閉校記念碑建立プロジェクト会議	代 表	野木三司100周年実行委員長
-----	---------------------	-----	----------------

## (1) 概要

議 題	記念碑建立スケジュール、業者、役割分担、予算額及び設置場所の検討、決定
日 時	2021(令和3)年7月7日 17:30~19:00
場 所	弥栄分校 玄関前、応接室
出席者	100周年実行委員会より→ 野木、平井元校長、味田、松本、今田 学校より→ 中道校長、行待先生、近江先生

## (2) 会議内容

<p>1 趣旨説明（記念碑建立の目的） 昭和23年に開校した弥栄分校は、今日までの73年の長きに亘り多くの人材を輩出し、地域の教育拠点として実績を積んできましたが、2022年(令和4年)3月を以て閉校致します。そこで、この地における先達の業績を顕彰し、その歴史と伝統を記憶に留めるために閉校記念碑を建立することと致しました。峰高創立100周年記念事業の一環ですが、プロジェクトチームで取り組みたい。</p> <p>2 今後のスケジュール 早急に業者を選定し、12月末には完成したい。但し、完成した記念碑は京都府に寄附することになるので、寄付申し出のタイミングも踏まえ、記念碑の内容等について府教委等と事前協議（11月末までに寄付前に必要な書類の提出をする）しながら進めることになる（松下事務長に手伝って頂く）。</p> <p>3 業者の選定（平井先生の推薦） 有限会社今田石材店に決定。これまでの実績（旧丹波小、旧溝谷小、旧五箇小等）を踏まえて。</p> <p>4 予算額 金50万円。</p> <p>5 設置場所の選定 第一候補として玄関正面の進入路沿いであるが、府に寄附する前提として設置場所に関しても管理課の許可を得る必要があるため、記念碑の内容共々、学校や府教委と相談しながら決めていく。</p> <p>6 碑文案及び揮毫の検討（味田さん持込み資料を参照） 碑文案（文言）及び揮毫ともにプロジェクトチームで自由に検討する（府教委に確認済）。担当は、近江先生、行待先生、味田佳子さん、松本千代美さんの4人。</p>
--

## (3) 協議事項

<p>1 予算（50万円）オーバーの場合、どう手当するか (1) 分校卒業生に寄付を依頼する。 (2) サラトから分校卒業生のデータを送ってもらう。 (3) 寄付依頼には、記念碑建立資金の寄付用の振込用紙を作成する（サラトに印刷を依頼する）。 (4) 集まった寄付金が予算超過分を賄ってもなお余剰がある場合は、本会計からの持ち出しを減額する。</p> <p>2 次回会議までにすること (1) 碑文案を作成し、今田石材店に持込み、そこで予算額を念頭に、大きさ・材質・文字書体等の見本、たたき台を作成してもらう。 (2) 寄付依頼先の検討</p>
--

## (4) 備考

次回の会議	日時 2021年(令和3年)7月30日(金)19時30分から 場所 峰高4号館1階 100周年事務局 議題 今田石材店にプレゼンをして頂く。
-------	--